



いちかわみさと

第27号

2012年5月1日 発行

議会だより



●野沢菜収穫(三珠地区)

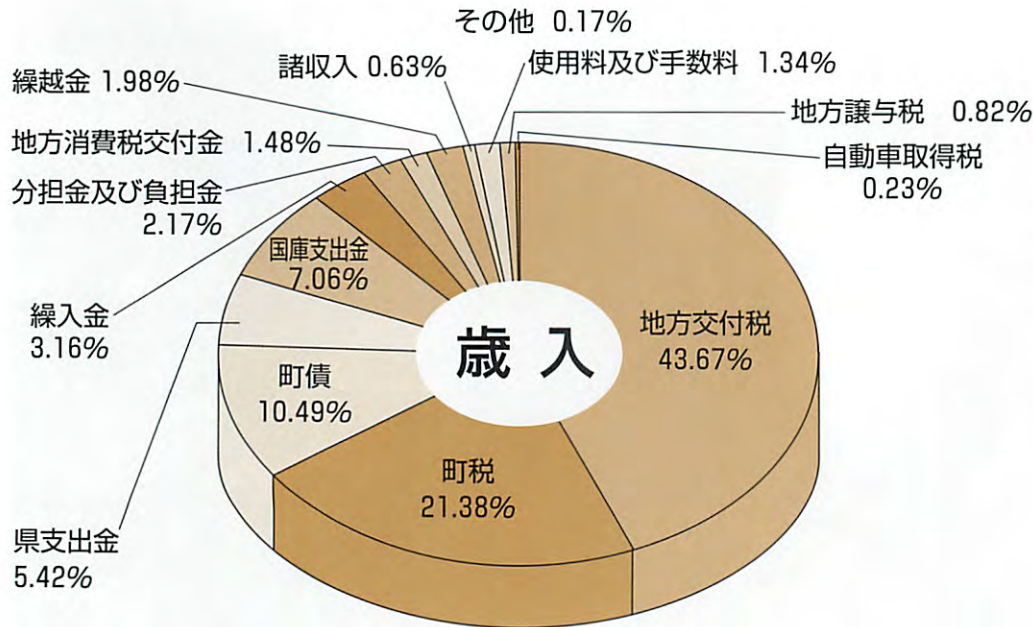
平成24年 3月定例会

- 平成24年度
当初予算81億3,807万円の使いみち・・・ 2～3
- 条例の制定・改正・・・ 4
- 平成23年度 補正予算・・・ 5
- 常任委員会報告・・・ 6～7
- 6 議員が一般質問・・・ 8～14
- 審議結果・・・ 15
- みんなのページ・・・ 16

前年度比 3.1%減 の緊縮予算 を可決

平成24年第1回定例会は、3月8日から23日までの16日間にわたり開催されました。今定例会では、平成24年度当初予算をはじめ、条例の制定・改正、平成23年度一般会計・特別会計補正予算など45議案が提出され、いずれも原案のとおり可決、承認されました。

●一般会計予算のなかみ



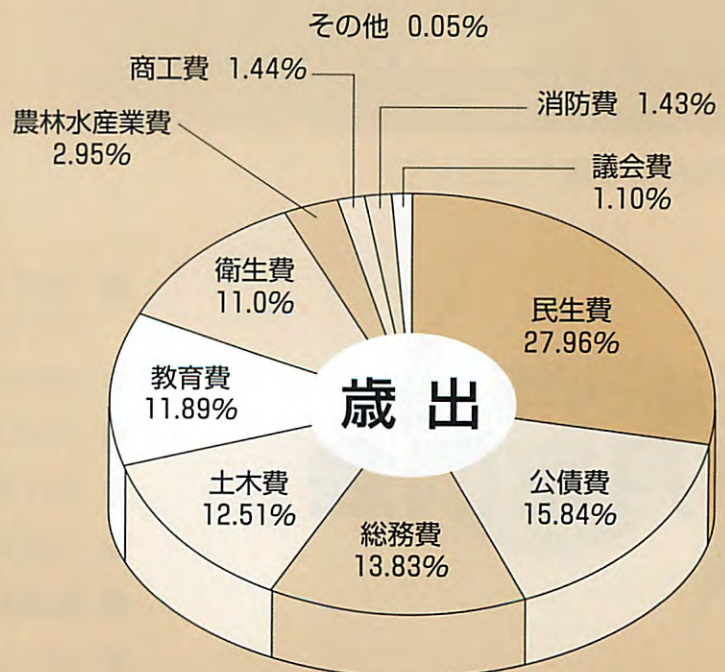
業の一部

**六郷中学校特別
教室棟改築事業**
1億4,187万円
特別教室の耐震化のため建替をおこなう。

**ドクターヘリ地域
緊急搬送拠点整備**
500万円
災害時孤立のおそれのある下九一色地区に建設予定。

**大同地区
公民館建設事業**
4,350万円
老朽化した地区公民館の建替をおこなう。

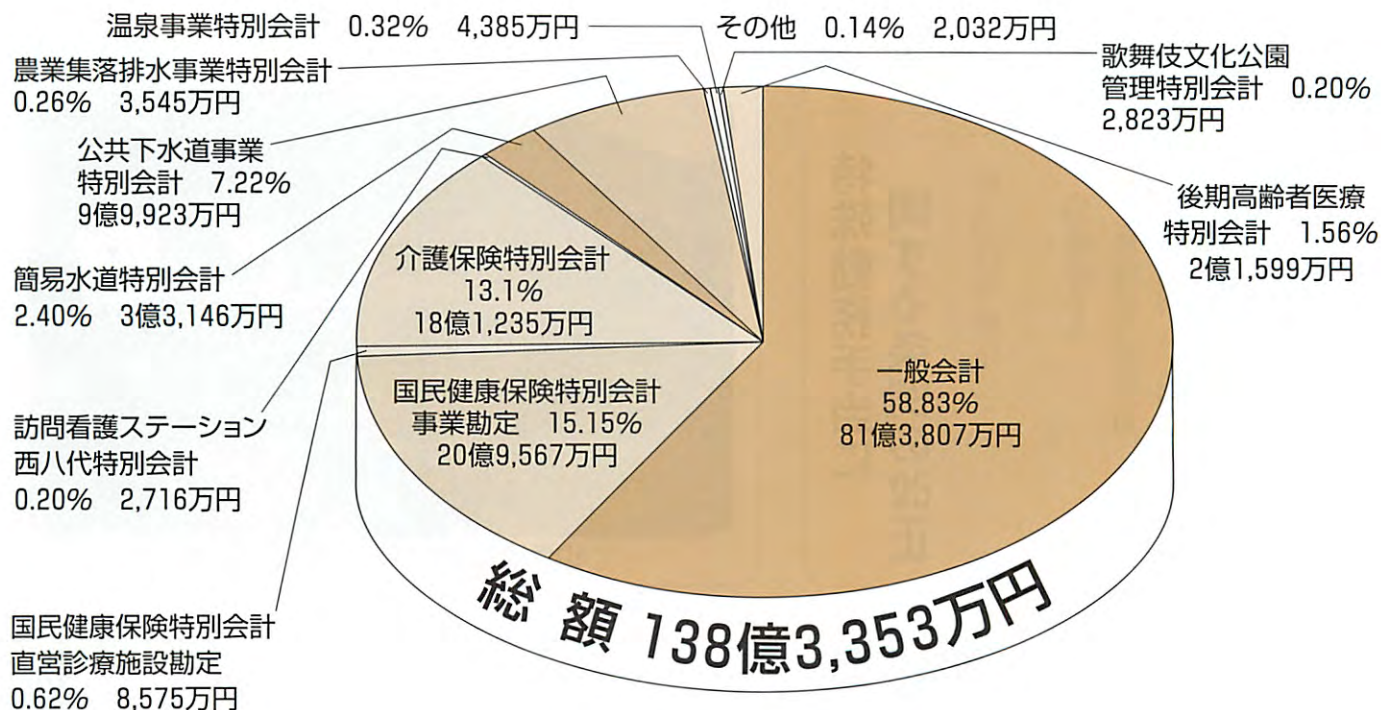
**小中学校飛散防止
フィルム貼付**
263万円
窓ガラスの飛散防止を随時進めていく。



平成24年度一般会計当初予算

81億3,807万円

●一般会計予算・特別会計(56億9,546万円)予算の状況



一般会計の主な事業名

予算額 (万円未満は四捨五入)

● 中山間地域総合整備事業(三珠・市川地区)	2,250万円
● 町道岩間久那土線改良工事	2,100万円
● 町道町屋川浦線新設改良工事	2,000万円
● 町道宮原一本松線新設改良工事	2,000万円
● (仮称) 町道平塩5号線新設工事	1,064万円
● 町道網倉日向線改良工事	1,050万円
● 市川中央部まちづくり事業	8,920万円
● (仮) 市川三郷町・富士川町山王土地区画整理事業	4,208万円
● 町道籠鼻川浦線新設改良工事	3,386万円
● 町道矢作上野線改良工事	5,700万円
● 耐震防火貯水槽設置	2,070万円
● 防災倉庫設置	1,830万円
● 災害時情報収集衛星携帯電話整備事業	208万円
● 自然エネルギー有効活用促進奨励金	480万円
● プレミアム商品券発行助成	180万円
● 景観計画策定事業	546万円
● 道路橋梁長寿化修繕計画策定事業	1,300万円
● 住宅リフォーム助成事業	300万円
● 町営住宅長寿命化計画策定業務	577万円
● 防災備蓄資機材整備事業	432万円
● 国民文化祭事業	465万円

新しい事

定住促進住宅整備
4,057万円

定住化を促進し、地域活性化を図るため、山保地区に2棟を建設する。

放射線測定器
31万円

放射線測定器3基を整備する。

条例の制定 1件・改正 7件

定住促進住宅設置及び 管理条例の制定

帯那地区に2棟建設

定住化を促進し、地域活性化を図るため定住促進住宅を設置し、管理運営するための条例を制定するもの。

町外から2世帯10人が転入予定です。



山保地区定住促進住宅建設予定地

勤務時間・休暇に 関する条例の改正

平成24年12月31日まで

東日本大震災の被災者のためのボランティア活動の有効期間を延期するもの。

特殊勤務手当に 関する条例の改正

5項目を廃止

- ① 税務手当
- ② 防疫等作業手当
- ③ 行政病人・死亡人取扱
- ④ 精神障害者護送
- ⑤ 野犬・捕獲等、5項目を廃止するもの。

税条例の改正

- ① たばこ税率
 - ② 退職所得に係る所得割10%税額控除の廃止
 - ③ 東日本大震災に係る雑損控除額等
 - ④ 個人住民税の税率（均等割額に500円加算）
（平成26年度～平成35年度の10年間）
- 地方税の臨時特例に関する法律等に伴う一部改正。

介護保険条例の制定

基準月額（第4段階対象者で）

600円値上げ4、850円

平成24年度から始まる第5期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の策定に伴い保険料を改正。

農業委員会の選挙に よる委員の定数に 関する条例の改正

20人→17人に

選挙による委員の定数削減をするため。

人事

人権擁護委員

望月 清明氏

市川三郷町黒沢





平成23年度

一般会計補正予算

(万円未満は四捨五入)

収入支出の補正額は

補正額 △ 6,248万円

総額 85億9,914万円

収入のおもな内訳は



町税	551万円
地方交付税	5,267万円
国庫支出金	△6,861万円
県支出金	△4,354万円
繰入金	△53万円
借入金(町債)	△2,090万円

おもな使いみち

総務費

役場庁舎サーバー室空調設備 改修工事費	445万円
鎮魂の花火打上委託料	60万円
イントラネット光ケーブル修理代更正	△125万円

土木費

急傾斜地崩落対策事業負担金追加	120万円
民間建築物アスベスト除去・ 改修費補助金更正等	△209万円
川浦団地1戸解体工事費	83万円

民生費

介護保険特別会計繰出金追加	963万円
国民健康保険特別会計繰出金追加	6,661万円

消防費

一部事務組合負担金更正	△ 27万円
消防車購入費等更正	△879万円

衛生費

一般廃棄物収集運搬等委託料更正	△626万円
住民健康診断検査等委託料更正	△434万円
不妊治療費助成事業更正	△ 24万円

商工費

温泉事業特別会計繰出金追加	1,146万円
西伊豆町交流助成金更正	△15万円
商店街活力再生支援事業 補助金追加	105万円

農林水産業費

中山間圃場整備換地等委託料更正	△843万円
小規模水力発電事業負担金更正	△250万円

教育費

六郷小学校ベランダ手摺 改修工事費更正	△ 18万円
民間外国語指導者 業務委託料更正	△ 86万円



市川中央部まちづくり事業

総務教育

開催日
3/9

問 小学校の給食費が210万円の更正となっているが、**網倉教育総務課長** 当初237名を予定したが、実績で201名。36名の減となったため。

問 町債に掲載されている山王線は町の総合計画や国土利用計画にないがその理由は。

長田企画課長 旧町時代からの計画であり、黒沢バイパスの関係もあるので緊急的に優先順位をつけ、事業化した。

問 大同地区公民館の用地取得及び設計等の予定は。

伊藤生涯学習課長 本年5月中に契約。その後本設計に入る。

問 青色パトロールカーの運行により防犯や不法投棄防止等の事例はあるか。

長澤総務課長 警らが中心であり、特に事例はない。学校との連絡を密にするよう依頼している。

問 衛星携帯電話用発電機がカセットボンベ式とのことだが、能力的に問題はないか。

総務課長 使い方によるが、3時間位はもつ。ボンベの交換や、持ち運びが簡単との理由で選定した。



衛星携帯電話用発電機

問 消防協会問題の現状及び町の対応は。

総務課長 平成19年度の町負担分の返還請求を検討中。

厚生

開催日
3/12

問 第5期介護保険料が決まったが、第6段階の所得が190万から500万と幅が広いので、細分化の検討を。

青柳福祉支援課長 細分化は可能なので、今後検討に入る。

問 つむぎの湯の入館者数、及び入浴料割引の再延長は。

樋川つむぎの湯所長 2月末で76、569人、昨年より12、738人増。割引は全体を見ながら期間延長を行う。

問 つむぎの湯、ニードスポーツセンターの指定管理について検討が必要なのは。

町長 1年かけて両施設を検証し、検討を進めていく。

問 繰出し金で国民健康保険直診勘定分（三珠診療所）の更正が大きい。

砂田町民課長 週5日診療で計上したが、2・5日となったため、医師報酬が減った。毎日診療に向け、医師確保に努める。



ドクターヘリ離着陸場予定地

問 ドクターヘリ離着陸場新設工事の内容は。

一瀬いきいき健康課長 場所は下九一色中校庭跡地で、24、25年度事業、26年完成予定。

問 保育所費の広域入所負担金について、町外委託、町内受託人数と、町立、私立保育所の入所者数は。

上野保育課長 町外委託が24名、受託が21名。町立6園が200名、私立が120名である。



常任委員会

土木環境

開催日
3/15

問 小規模水力発電事業の内容及び計画は。

丹沢産業振興課長 川浦地区の黒岩ダム右岸用水路であり、23年度調査、25年度着工、26年5月発電開始予定。

問 農業土木費の県営事業受益者負担金は。

産業振興課長 町の負担金は15%となっている。

問 本年度工事の落札率は。

加藤建設課長 建設課では平均95%である。

問 指名競争入札がほとんどだが、一般競争入札にする考えは。

町長 現状は1億円以上が一般競争入札で、それ以下が指名競争入札である。

問 本年度の獣害捕獲数は。

産業振興課長 2月末までの実績で三珠地区73頭、市川地区27頭、六郷地区6頭である。

問 高田排水機場のオーバーホール工事費の計上は。

産業振興課長 入替は数年先になるため当面の使用が

前提である。

問 景観計画策定業務委託の内容及び活用方法は。

建設課長 23年度から4年間で策定し、特色を活かしたまちづくりをしていく。

問 上水道事業会計の建設改良費についてポンプは今後も取り替えていく予定か。

河西生活環境課長 事業経営状況の中で進めており、次は27年度の料金改定時に改修したい。



山王土地視察風景

組合議会報告

中巨摩地区広域事務組合

12月定例会 12月27日

23年度補正予算3件が原案どおり可決されました。

主な内容は、次のとおりです。

一般会計 印刷製本費 60万円追加

特別会計 ごみ処理事業管理費公課費（消費税）

220万円追加

勤労青年センター事業 体育館耐震補強工事に伴う地方債の限度額の変更3、937万円を4、300万円に補正変更。

（報告 小林一史）

山梨県後期高齢者医療広域連合

第1回定例会 2月17日

第2次広域計画の策定ほか、条例の改定案2件、補正予算案2件、24年度当初予算案2件が原案どおり同意、可決されました。

23年度特別会計補正予算では、歳入歳出予算に4億805万円を増額し900億1、842万円にするもので、24年度の保険料軽減特例措置による交付金4億1、338万円を、臨時特例基金に積み立てる増額補正がおもなものです。

24年度一般会計予算では、総額を5億315万円とし事務費用に繰り出す負担金を市町村から受け入れるなどの予算でした。特別会計予算では、総額928億5、406万円とするもので前年比35億409万円の増額。被保険者数が1、600人程度の増加、一人当たりの医療費も2万円程度上がると見込まれる事がおもな要因でありました。

（報告 望月隆夫）



町政をただす

第1回定例会一般質問一覧

■村松 武人議員

- 1 鯉沢口駅無人化について。
- 2 鯉沢警察署、大同駐在所について。
- 3 山王土地区画整備事業について。

■一瀬 正議員

- 1 新病院設置協議会の協議事項について。
- 2 市川公園内に太陽光発電所を建設し、スポーツと科学の公園としての活用は。
- 3 神明の花火大会を町の振興策に。
- 4 国民文化祭の振興策について。
- 5 就学援助制度の改善について。

■笠井 雄一議員

- 1 月見橋の橋梁安全点検と維持修繕について。
- 2 地域福祉計画について。

■小林 一史議員

- 1 自治基本条例の制定について。
- 2 地域情報化計画の進捗状況について。
- 3 中学校での武道必修化への対応は。
- 4 卒業証書に市川和紙を、成人式の記念品に六郷の印鑑を。

■宮崎 博巳議員

- 1 避難所となる学校、公共施設に太陽光発電・蓄電池の設置を。
- 2 メタボ検診受診率65%に向けての対策は。

■内藤 優議員

- 1 「ニードスポーツセンター」に指定管理者制度の導入を。
- 2 「つむぎの湯」についても、指定管理者の導入を検討すべきではないか。

議会傍聴にお出かけください

次回定例会は6月中旬に予定されています。

傍聴の定員

本会議30人 委員会 各8人

◆3月定例会の傍聴実績(のべ人数)

本会議 29人 委員会 3人

◆会議検索システム利用件数 1月から3月まで 1,153件

◆お問い合わせ 議会事務局 TEL055-272-1108

●6人の議員が質問

◆掲載は要旨のみとします。

◆議事録は議会事務局で閲覧できます。

◆ホームページで本会議の議事録を検索できます。



JR 鰍沢口駅無人化撤回を!!

村松武人議員

町内の利用客の多い駅に

一人配置を協議

問 多くの団体が撤回を求め、請願書・1、120名の署名、町を通してJR東海に申し出た結果は。

町長 無人化は計画どおり実施する旨のJR静岡支社の回答であったが、拒否する事と伝えてきた。

問 下部温泉駅も対象になっているが、連携は。

町長 身延町は土日月の三日間の駅員配置の要望の予定と聞くが、本町は全週間に駅員配置をし、町内すべての駅の無人化を避け、利用客の多い駅に町費負担による駅員一人を配置することの協議を進めていく。

問 鰍沢警察署大同駐在所の廃止説明会の開催・中止の町の対応は。

町長 警察署長から正式に廃止問題は提起しない説明と将来に向っても、廃止はない旨の返答を受けた。

問 昨年も同様な問題の提起があったが、町として何を発信したのか。

総務課長 廃止撤回後は詳しいやりとりはないが、駐在所の造り替えの請願を考えている。

町長 町の姿勢を警察関係の決定権を持つ部署に伝えていく。

問 山王土地地区画整備事業計画の進捗状況は。

町長 対・富士川町との割合は四対六で、100区画位が見込まれ、少ない負担で有利な起債を活用し平成27年度末を事業年度と考えている。

問 同地区の活断層の調査・影響は。

建設課長 準備委員会活断層の位置・方向等の調査を行ったが、県・専門機関に指導を受け、地耐力の高い造成工事をしていく。



存続する大同警察官駐在所

新病院設置、課題大だが！

— 瀬 正 議員

設置協議会で判断していく



問 新病院設置協議会が協議する諸事項について、町長の見解と方針は。

町長 町立病院存続を念頭にあらゆるケースを想定し、町として容認できるのか検討している。この協議会は判断するためのものであり、納得できなければ、医師問題も含め判断する。

問 市川公園に太陽光発電所を建設し、スポーツと科学の公園として活用を。

町長 三方に山を抱えた立地で、日照時間や公園の樹木が障害となり適地とはいえない。

問 神明の花火大会を活用し、人口増加政策の展開を。

町長 昨年は、温泉と花火大会をコーディネートし体験ツアーを実施。現在も人口増加策に取り組んでいる。

問 国民文化祭の準備の進捗状況と振興策は。

町長 「書」の美術展を開催。この文化祭を起爆剤に町おこし事業を検討していく。

問①就学援助制度について申請事務処理の簡素化を。

町長 事務処理の改善を検討していく。

②通知時期を早めると同時に、申請が遅れた場合でもさかのぼって支給を。

町長 時期については検討する。申請はいつでも受付けており、申請が遅れた場合でも、さかのぼって支給している。

③保護者向けの外国語の案内書の発行を。

町長 発行できるよう検討していく。

④お金の受け取りはどうなっているのか。

町長 就学援助費の保護者への支払いは口座振込みで行っている。

⑤申込み先が学校となっているが、子どもへの配慮が必要では。

町長 学校または教育委員会どちらでも申込みできるよう検討する。

⑥資産調査はどのようになっているのか。

町長 実施していない。

⑦入学、修学旅行など出費が多くなる時は、支給を早めては。

教育総務課長 最大限努力していく。

⑧就学援助費の対象が拡大されたが町の対応は。

町長 他の自治体や、町の財政状況を考慮し検討していく。



市川三郷町立病院

月見橋の安全点検と維持修繕は

笠井雄一 議員

早期に県に強く要望する！

問 昭和59年に新しく架け替えられ、28年が経過しようとしている月見橋の安全点検は。

町長 県が実施した点検結果は、耐震性について補強工事が必要であるが、緊急性はない。しかし、いつ起こるか分からない震災に備え、早期に耐震化するように、県に要望する。

問 塗装等の劣化が著しく、安全性、美観、景観からも早期塗り替えが必要と考えるが。

町長 早期に実現できるように、身延町と、県に強く要望していく。

問 23年度見直し予定となっている、地域福祉計画の状況は。

町長 現在、障害者福祉計画、高齢者保健福祉計画及び介護保険計画は、見直しをして新たに作成される予定で、それらの計画との整合性を踏まえ、検討していく。

問 今後の具体的スケジュールは。

福祉支援課長 他計画と総合的に考え、4月より地域福祉計画の基礎をつくり、極力早い時期に策定する。

問 第5期介護保険計画にどのように反映されるか。福祉支援課長 支援体制の整備そのものが、生かされている。

問 高齢者支援体制の整備の状況は。

町長 6事業が計画されており、高齢者や地域で支える体制の整備を図っている。

問 障害者基本計画の主な事業の検証、評価、成果は。

町長 各機関の連携は、県、障害者相談所、障害者支援施設サービス事業所、各病院、社会福祉協議会等、連携を取り充実を図っている。

問 障害福祉計画の推進状況は。

町長 第3期の計画を策定中で、総合的な計画であり、事業ごとに関係部署と連携を密にし、見直しや評価をしていく。



修繕が待たれる月見橋



自治基本条例の制定は

小林 一史 議員

制定に向け調査・研究を行う

問 自治体が先行して、新しい課題に取り組み、しくみをつくる流れの中で、自然や景観、特産品や地場産業、歴史と文化等地域の個性を再確認し、町、独特の課題に対応した自治基本条例の制定は。

町長 自治体の役割の拡大、少子・高齢社会による行政ニーズの多様化、国・地方の厳しい財政状況等、環境は大きく変化している中で、自主・自立のまちづくりを進めるため、主体である町民と行政が力を合わせる協働のまちづくりの推進が重要で、条例制定に向けての調査・研究を行なっていく。

問 地域情報化計画は、平成19年10月に策定され24年度までの計画期間ですが、進ちよく状況は。

町長 推進事業は25項目で、平成24年2月現在、完了しているものは、ブロードバンド未整備地域への対応、携帯電話サービスエリア拡大、地デジ対応等10項目、一部完了、作業中は防災行

政無線デジタル化への対応、ホームページの情報提供の充実等11項目で、実施されていないものは4項目です。

問 学習指導要領の改訂により、中学1、2年生の保健体育で武道とダンスが必須科目となりますが、中学校での武道必須化への対応状況は。

教育委員長 校長会が3年前より検討を重ね、柔道を選択。実施学年は2年生で年間10時間（10月～11月頃）を予定している。ケガや事故が起きないよう指導者、体育教師が一体となり、万全の対策を検討していく。

問 伝統産業、技術を地場産業の一助として、全小中学校の卒業証書に市川和紙を。

教育委員長 今後、手すき和紙による卒業証書づくりを、学校とも協議する中で検討していく。

問 成人式の記念品に、地場製品である六郷の印鑑を。

教育委員長 地場産業である町の贈り物として、どの印材が適し、経費やデザイン作成から、式典の準備までの時間的な事など、取り組みが可能か検討していく。



柔道を選択

公共施設に太陽光発電・蓄電池の設置を

宮崎博巳 議員

避難所には発電機配備を進めていく

問 避難所として重要な役割を担う公共施設等一時的な生活の拠点として、ライフラインの確保は最重要と考える。太陽光発電の設置、蓄電池の設置が必要と思うが。

電池の使用時間は長いもので3～5時間ぐらいと聞いている。当面避難所には発電機の配備を進めていく。

町長 避難所への太陽光発電設置には大きな支障がある。災害は夜間に発生することもある。夜間は太陽光発電はできず、蓄電池は大きいものであり、蓄

問 現在の避難箇所数と発電機数および今後の整備計画は。

総務課長 81箇所、21基であり、小型ガスボンベによる発電機で最低限度の照明をとる発電体制を考えている。

問 目標率65%が2012年度までに達成できない場合は、ペナルティーとして補助金の減額が予測され、保険料への影響は。

町長 該当者および予備群による減少率により、保険者が支払う後期高齢者支援金の金額が、最大で10%まで加算減算できることとされているが、詳細な計算方法については、2013年度以降、政令で規定されることとなっているため、詳細は不明。国保会計への影響については、すべての歳入歳出を勘案して決定するので、後期高齢者支援金だけでは判断できない。



問 2008年4月から特定検診（メタボ検診）がスタートしたが、2012年度までの受診目標率65%へ向けての対策は。

町長 特定検診を無料とし、がん検診とともに無料受診がなされている。受診できなかった方には、追加検診の再通知と直接電話連絡をしている。

問 メタボ検診の結果、健康改善につながっているか。

町長 現在、保健指導率の目標値45%および減少率の目標値10%減については目標値を上回っている。



メタボ検診

ニードスポーツセンター、つむぎの湯に 指定管理者制度の導入を

内藤 優 議員

費用対効果を念頭に検討していく



問 昨年の委員会審査において、指定管理者制度を検討するとなっているが今後の方向性は。

町長 所長を正規から嘱託職員に移行し経費の削減や経営改善に取り組んだ本年度から指定管理を目標に、つむぎの湯も含め、六郷の里運営委員会に諮問し協議を進める計画である。

問 人件費の削減は評価できるが、経営改善の取り組みは。

町長 すぐに来館者が増えるような施設ではないが、様子を見ながら改善に取り組んでいく。

問 嘱託職員体制に入ってから経営感覚、経営手腕を生かした運営に変わったか。

町長 人件費については削減の成果は出ているが、経営状態については、今後、費用対効果を念頭に検討する。

問 ニードスポーツセンターは国保加入者の利用によって医療費の抑制という事が掲げられているが、その利用状況は。

いきいき健康課長 国保加入者の方は4割であるが延べ数は7割である。医療費削減ということだけだと少し限界があると考ええる。

問 空き部屋の有効利用策と検証は。

町長 より有効に施設が機能できるよう1年をかけて検証していく。

問 指定管理者制度について可否を含めて、諮問すると言うが今後の進め方は。

企画課長 地元の意見等、議員も含め新年度早々の立ち上げを準備する。

問 管理者制度の移行はニードスポーツセンター、つむぎの湯とセットなのか。

企画課長 単独・セット両面から考えていく。



健康づくり・ニードスポーツセンター

問 つむぎの湯に新たに厨房を建設し、飲食を提供できるようにする事など含め、一層の経営改善に心がけてほしい。

町長 大勢の知恵の中でその最善策を見出し、精一杯努力する。

討論

市川三郷町税条例中改正

(反対) 一瀬 正 議員

東日本大震災復興財源に充当するため、個人町民税均等割3、000円に500円を上乗せし3、500円になる、県民税も500円加算され町県民税あわせて4、000円が5、000円に増税される、大企業や富裕層への増税ならともかく均等割世帯への増税なのか理解できない。

(賛成) 市川 朝嗣 議員

東日本大震災復興基本法第二条に基づくもので全国的に、かつ緊急に地方公共団体が実施する防災のための施策に要する費用の財源を確保するものである、平成26年から35年までの10年間に限った措置であり、非課税限度額制度により所得の低い方には課税がないので理解する。

介護保険条例中改正

(反対) 一瀬 正 議員

所得額の制約の中で介護サービスがうけられないのが実態である。年金がまた引き下げられる中、高齢者世帯に一番つらいのは医療介護の値上げである。職員の努力は理解するが、国の政治のあり方が問われる。

(賛成) 宮崎 博巳 議員

介護保険料の改正は、負担を軽減したい思いは皆同様であるが、保険利用者の増や、これから超高齢者社会に入っていく現状を考えると、やむをえない。今後の検討事項として所得別段階の細分化、介護予防事業の充実にも努める事を望む。

一般会計予算

(反対) 一瀬 正 議員

町立病院を、今のまま存続してほしい町民の声を背向け、存続出来る鯉沢病院をなぜ両町で買収するの

か、三病院を統合し、新病院を設置する市川三郷町、富士川町新病院設置協議会負担金の予算に反対する。

(賛成) 川崎 充朗 議員

議会において、経営統合等について「任意協議会に進み協議する」と意見集約し「地域医療機能推進機構調査」も練り込まれており、町民に理解される町立病院の存続を念頭に、医師派遣問題等も含めての協議会であり必要と考える。

介護保険特別会計予算

(反対) 一瀬 正 議員

介護保険料を無理して支払っても、いざ介護サービスを受けようとしても施設不足で受けられない。国民の命と暮らしを守るという政治の根本が忘れられている悪政が許せない。

(賛成) 川崎 充朗 議員

創設以来、毎年制度の改正をしている、十分な制度とは言いがたいが、

高齢化の進む中、必要とされる制度として今後さらに充実していくことが望まれる。これからの事業運営と予防活動に期待する。

後期高齢者医療特別会計予算

(反対) 一瀬 正 議員

年齢による医療のサービスを差別する制度はただちに廃止し、高齢者が安心して医療が受けられるようにすべきである。制度そのものに反対する。年金が引き下げられる中で値上げは許されない。

(賛成) 川崎 充朗 議員

負担を少しでも抑えるため、余剰金の活用と基金の取り崩しを行い、保険料率を抑えたものであり、安定した制度運営に必要と考える。現行制度を堅持し国民皆保険を引き継いでいく事が大切である。

討論の結果、賛成16・反対1

審議結果

◎第1回定例会 (3月8日～23日)

結果

・平成23年度一般会計補正予算(第6号)		
(第7号)専決処分につき承認を求める	承認	全会一致
・一般会計補正予算(第8号)(第9号)	可決	全会一致
・衛星携帯電話購入契約の締結について	可決	全会一致
・市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び組合規約の変更	可決	全会一致
・定住促進住宅設置及び管理条例の制定	可決	全会一致
・職員の勤務時間、休暇等に関する条例中改正	可決	全会一致
・職員の特殊勤務手当に関する条例中改正	可決	全会一致
・税条例中改正	可決	賛成多数
・介護保険条例中改正	可決	賛成多数
・農業委員会の選挙による委員の定数に関する条例中改正	可決	全会一致
・道路占用料徴収条例及び市川三郷町公共物管理条例中改正	可決	全会一致
・町営住宅設置及び管理条例中改正	可決	全会一致
・国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決	全会一致
・介護保険特別会計補正予算(第4号)	可決	全会一致
・介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	可決	全会一致
・訪問看護ステーション西八代特別会計補正予算(第2号)	可決	全会一致
・簡易水道特別会計補正予算(第4号)	可決	全会一致
・公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	可決	全会一致
・戸別浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第2号)	可決	全会一致
・温泉事業特別会計補正予算(第1号)	可決	全会一致
・歌舞伎文化公園管理特別会計補正予算(第2号)	可決	全会一致
・後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決	全会一致
・病院事業特別会計補正予算(第2号)	可決	全会一致
・平成24年度一般会計予算	可決	賛成多数
・国民健康保険特別会計予算	可決	全会一致
・介護保険特別会計予算	可決	賛成多数
・介護サービス事業特別会計予算	可決	全会一致
・訪問看護ステーション西八代特別会計予算	可決	全会一致
・簡易水道特別会計予算	可決	全会一致
・公共下水道事業特別会計予算	可決	全会一致
・農業集落排水事業特別会計予算	可決	全会一致
・戸別浄化槽整備推進事業特別会計予算	可決	全会一致
・温泉事業特別会計予算	可決	全会一致
・恩賜県有財産保護管理事業特別会計予算	可決	全会一致
・市川・高田・大同財産区特別会計予算	可決	全会一致
・歌舞伎文化公園管理特別会計予算	可決	賛成多数
・後期高齢者医療特別会計予算	可決	全会一致
・上水道事業会計予算	可決	全会一致
・病院事業会計予算	可決	全会一致
・町道路線の認定	認定	全会一致
・切板山恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙	決定	全会一致
・人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める	適任	全会一致

原稿を募集します。

みなさまのご意見をお寄せください。

400字詰め原稿用紙1枚以内、氏名(区名)・顔写真の掲載など詳細は、お問い合わせ下さい。

お問い合わせ：議会事務局 TEL055-272-1108

みんなのページ



笑顔とあいさつ・おもいやり

富士見ふれあいの森公園がある岩間屋敷山のふもとにひまわり保育園があります。四季折々の自然に恵まれ、今朝も一日の始まりを告げる賑やかな小鳥のさえずりに負けないくらい、元気な子ども達の「おはようございます」のあいさつから保育がスタートしました。

子ども達の育ちの基本である「養護と教育」を実践できるように、遊びや運動などを中心に体作りをし、それぞれの子ども達の発達状況を大切にしながら生活習慣の確立などを目指しています。

また、保育園でも教育は大事なので、様々な保育体験を積んで新しい発見を拓けている毎日です。

これからも子ども達が大好きな「遊び」を中心に楽しく過ごす中で、心身ともに健全な発達ができるように願っています。



ひまわり保育園

編集後記

平成24年度の当初予算の審議が終了しました。本年は、昨年の大震災を教訓に防災対策の充実に力を入れた予算となりました。いざという時、頼りになるのは自治体です。町民の安全・安心に万全の体制をお願いしたいと思います。

さて、忙しさに追われる毎日ですが、5月21日の朝、金環日食が見られます。太陽と月が重なって、リング状に太陽が輝いて見えるそうです。今回のように、広範囲の地域で見られるのは何百年ぶりとのこと、期待が高まります。

今年は、自然の美しさ、壮大さに出会い、感動できる一年にしていきたいと思っています。

(記 宮崎 博巳)

議会広報編集特別委員会

委員長 宮崎 博巳
副委員長 笠井 雄一
委員 土屋 恵三郎
市川 朝嗣
川崎 充朗
有泉 希